

インディアナ日本語学校便り

だいごう
第5号

令和5年5月27日事務所 317-255-1631 メール ijls@indiana-j-school.net

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

不審者対応避難訓練実施

～お・は・し・も・ち～

校長 森 勝義

5月20日、「不審者対応避難訓練」を実施しました。当日は運営委員・保護者の会の方にも協力していただき、緊張感を持ちながら訓練をしました。園児・児童生徒は緊急放送がかかると、担任の指示に従い、教室のドアをロックし、迅速に身の安全を確保しました。



不審者への対応

保護者事務室へ通報

警察官来校

不審者確保

学校側の対応は、受付に代わり校長が不審者の対応を行い、放送にて緊急避難の連絡を暗号で連絡と同時に、警察へ連絡します。緊急避難の連絡を受けた担任は、カーテンを閉め電気を消し、不審者の仲間がいることを想定して対応、園児、児童生徒に対してはドアからの死角に隠れさせ、「教室の隅」への避難を促し、安全確保することになっています。

事前指導として、不審者侵入時の「暗号」を周知させて、避難時の事故を防ぐため、「お」さない、「は」しらない、「し」ゃべらない、「も」どらない、「ち」かづかないの「おはしもち」指導を徹底しています。実際の訓練では、園児、児童生徒が著しく恐怖感を抱く子も予想されるので、避難訓練であることを事前に周知しています。避難訓練時だけではなく、平時も常に緊張感を持って学校生活を送ることが大切であると思います。本校は「不審者対応」「トルネード対応」「火災対応」、年3回の避難訓練を実施しています。

* 6年「帰り道」を読んで

ディックス春輝

この物語は、二つのチャプターに分かれていて、一つ目のチャプターは、律の視点。二つ目のチャプターは、周也の視点から書かれています。一つの出来事を二つの視点から見るのは、おもしろいなと思いました。

ぼくは自分がもし律だったらどうするかと考えました。律は、周也が律におこっていると思っていました。でも律は周也にその気持ちをなかなか言うことができませんでした。ぼくだったら、初めに周也の気持ちを聞きます。そしてぼくの気持ちを言います。もしぼくが、周也だったとしても、同じようにすると思います。そうすれば二人とも、モヤモヤの気持ちはなくなると思いました。

律が自分の気持ちをうまく伝えられなかったのは、よく分かります。ぼくもたまたま意見をすぐに言えなくて、せかされたことがあるからです。律が自分の意見を発表しようとしていた時に、おこられたのに、ちゃんと最後まで意見をつらぬきとおしたのがすごいなと思いました。周也が会話をしようががんばって、律の言った言葉にうなずいて、ちゃんと言葉を受け止められたのが、物語の最初と比べると、コミュニケーションを理解していて、成長しているなと思いました。律と周也は、性格が真逆なので、どうしても意見がかみ合わない時があると思うけど、最終的にはお互いを理解して相手の気持ちを受け止められたのがすごいなと思いました。

ぼくは、この物語を読んで、口に出すことがすべてじゃなくて、相手の言葉にできない心の気持ちを理解して、きちんと受け止めることが本当の会話をするということなのかなと思いました。ぼくは、律目線と周也目線で、分かれて書かれていることで、対象的な正確の二人でも、自分と向き合って、自分の悪いことを直そうと思うことで、ほんの些細な出来事でも変わることができるということを伝えようとしているのかなと思いました。

*** 小学2年 「今週のニュース」**

織田 理桜

わたしは、サッカーを土曜日と日曜日にやりました。土曜日も日曜日も2しあいやって2かい勝ちました。シュートはきめられなかったけれど、おとうさんにいわれていたつよいキックと、はやいドリブルはできました。かぞくやともだちのおとうさんやおかあさんが、「リオ、グレイト」「リオ、ゴー」とおうえんしてくれました。しあいのあとに、ぎん色の大きなメダルがもらえてもつともつとつよくなりたいと思いました。

佐藤 孝信

ぼくは、きょう学校のおまつりにいきました。そして、長いえんぴつをもらいました。そして、長いれつにならんで、ふうせんをもらいました。

清水 葵衣

土曜日にひこうじょうにいきました。ロッククライミングやフェイスペイントをしました。たのしかったです。いちばんうれしかったのは、くじびきであたりがでて、ダイダイキットをもらえたことです。

